


 大地申
 第11号

「駅業務委託について」に関する基本交渉開催！その2

2項続きから

≪交渉議事抜粋≫

組：東大宮駅委託の根拠で人口減少とあるが、増加傾向になっている。本体で人材育成すべきだと思ってしまう。サービスの維持に見えない。

会：地方かすべてやっていけばいいとなってしまう。現実的の直面している経営問題に対処していかななくてはいけない。要員事情に踏まえてやる。

組：業務改革ともいわれている。委託されてどう改革されるのか？委託駅で生産性を上げるのみにみえる。

会：委託して要員事情を解消するというだけでなく、業務改革が進められていく。JESSでは本体より効率的にやっている。

組：生産性については労使で認識は一致している。業務改革がおぼろげになっており、変革2027のビジョンがはっきりしていない。駅の業務改革が委託ありきに見える。今後の進め方は？

会：お客さまも技術的なものも変わっている。JESSは効率的な業務体制を組んでいる。

組：東大宮駅のみどりの窓口が閉鎖となり、大宮駅の窓口が混雑が予想される。多売期には受け入れが出来ないのではないかと？業務が逼迫し人材育成にも支障が出てくるのではないかと？

会：旅客のご利用状況の変化は進んでいく。ネットで買ってもらう方向にシフトしていく。全体を見ながら判断していく。

組：来月には定期的多売期がある。東大宮駅は本体からフォロー体制があるのか？

会：定期多売期については各駅と調整している。ご利用状況を把握するのは管理駅の蓮田で判断していく。今後はJESSで対応してもらって調整していく。

3. 管理駅となる蓮田駅の役割と管理者の業務量の変化を明らかにすること。また、偽装請負等を防止するため、業務委託に伴う変更点や連絡フローを周知徹底し、十分な教育を行うこと。

回答：蓮田駅の役割は、東大宮駅の設備管理や異常時の応援等である。なお、必要な社員周知は実施したところである。

≪交渉議事抜粋≫

組：管理者の業務量がどう変化するのか？

会：蓮田駅は現状でも管理駅。設備管理は変わらない。人身事故の現地責任者は蓮田駅になる。これまでは社員管理は本体。今後はJESSになる。

組：異常時の応援等とは？

会：イベントでは入試対応が含まれている。

組：設備管理は月に2回の巡回。今後も変わらないか？

会：蓮田駅は白岡、新白岡にも行っている。回数は月2回以上行っている。

組：3駅も管理していくことになるが、体制の変更はないのか？

会：変わらない。増える業務、減る業務を総合的に勘案している。

組：変更点に具体的に社員周知した点は？

会：通帯については本体の社員が行う。通帯なので業務区分するところは伝えてきた。また、輸送障害が発生した時の連携も明記した。

組：今後は人身事故の現地責任者は蓮田駅になる。これまで出来たこと、今後できなくなることを明確にしていたきたい。

会：明確にして周知する。

その3へ続く